

## 養育費等に関する申告書

※町村名 \_\_\_\_\_

※受付年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

○ 平成 \_\_\_\_\_ 年1月から12月までの1年間に受け取った養育費について、裏面の記入要領に従って記入して下さい。

区 分	受取人	養育費の額	受 取 状 況
	母又は父・児童	円	
合 計	母又は父	円	
	児童	円	

上記のとおり相違ありません。

年      月      日

氏 名



- (注) 1 上記の※の欄は、町村担当者が記入するので、記入する必要がありません。  
 2 記名・押印に変えて署名することができます。

(裏面)

## 養育費等に関する申告書の記入要領

### 1 この申告書の目的・趣旨

- ・ この申告書は、前年に前夫又は前妻から養育費を受け取っているのかどうか、さらに受け取っている額を確認するためのものです。

### 2 養育費について

- ・ 前夫（児童扶養手当の支給対象となっている児童の父。以下同じ。）又は前妻（児童扶養手当の支給対象となっている児童の母。以下同じ。）から前年（1月から12月までの1年間をいいます。ただし、1月から6月までの間に請求する人の場合には、前々年をいいます。）に、受給者（母若しくは父）又は児童が受け取った金品その他の経済的利益（以下「養育費」といいます。）がある場合には、その額を記入して下さい。
- ・ 養育費は、児童扶養手当法施行令第3条により、児童扶養手当制度における所得となりますので、正確に申告して下さい。
- ・ 養育費の合計額の欄に記入した額を、新規認定請求書の⑩の欄又は現況届⑥若しくは⑦の欄に記載して下さい。
- ・ 養育費として含まれるのは、具体的には別紙で定めるものです。
- ・ 前夫又は前妻が複数あり、それぞれから養育費を受け取った場合には分けて記入して下さい。また、区分欄には区別できるよう前夫又は前妻の名前を記入して下さい。前夫又は前妻が1人の場合には、この区分欄は空欄で結構です。
- ・ 受取状況欄には、次の例に従って記入して下さい。
  - 例1 毎月5万円で12か月間受け取っている場合には、  
「月々5万円、12か月分」と記入して下さい。
  - 例2 4月、8月、12月の3回に、それぞれ1万円、3万円、5万円を受け取っている場合には、  
「年3回、1万円、3万円、5万円」と記入して下さい。
  - 例3 年に1回、4月に受け取っている場合には、  
「年1回、4月」と記入して下さい。

※ 養育費についてわからないことがある場合は、町村役場の担当者にお尋ねください。